

## 成人用肺炎球菌予防接種

今年度対象の方の助成期間は、3月31日(水)までです。

**対象者**／接種当日に市内に住民登録があり、これまでに23価肺炎球菌予防接種(ニューモバックス)を受けたことがない、次のいずれかに該当する方

①令和2年度に次の年齢になる方

65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳

②60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に、身体障害者手帳1級に相当する障害を有する方

※②の方は事前に申請が必要です。

**助成額**／4000円

※生活保護受給中の方は、接種前に全額公費負担券発行の手続きが必要です。詳しくは、お問い合わせください。

## 土浦市特定不妊治療費助成事業

**対象者**／法律上の婚姻をしていて、夫または妻のいずれかが市内に住民登録のある夫婦(所得制限あり)

**対象となる治療**／県が指定する病院で受けた特定不妊治療(体外受精・顕微授精)で、次のいずれかに該当するもの

- ・茨城県不妊治療助成を受けた治療で、治療費が県の助成額を超えたもの
- ・茨城県不妊治療助成の助成年限および年間助成回数を超えたもの

**助成額**／1回の治療につき5万円まで(男性不妊治療をあわせて行った場合は、1回の治療につき5万円まで上乗せして助成)

**助成回数**／10回まで(平成23年度以降に助成を受けた回数を含む)

**申請期限**／3月31日(水)まで

※申請方法など、詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせください。



## 胃がんリスク検査

**対象者**／市内に住民登録があり、令和2年度に40歳から70歳までの5歳刻みの年齢を迎える、これまでに胃がんリスク検査を受けたことがない方

※ピロリ菌除菌治療を受けた方、食道・胃・十二指腸の病気で治療または経過観察中の方、胃を切除した方などは対象になりません。詳しくはお問い合わせください。

**検査料**／1000円(生活保護受給者は無料)

**検査内容**／協力医療機関での血液検査

**申込方法**／ホームページ、電話、または土浦市保健センター、市民課、各支所・出張所の窓口で

**検査期間**／3月31日(水)まで



## 2月の献血

**日時**／2月21日(日)

10:15~11:45

13:00~16:00

**場所**／イオンモール土浦  
(花火ひろば北入口)

## 健康教室

## 子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)について

土浦市医師会  
石川和明(石川クリニック)

子宮頸がんは、子宮の入り口にできる「がん」です。毎年約1万人の女性がかかり、毎年2900人が死亡しています。最近では、20~40歳代前半の若い人に増加しており、30代までに毎年1200人の女性が子宮頸がんを患っています。

その原因は、性行為で感染するヒトパピローマウイルス(HPV)です。HPVは数種類ありますが、性交経験がある女性の80%は生涯で一度は感染します。HPVに感染しても多くの方は治りますが、HPVに持続的に感染し続けるごく一部の女性において、子宮頸がんを発症します。

HPVの感染を予防し、子宮頸がんの発生を防ぐことができるのがHPVワクチンです。現在、世界中の多くの国々の若い女性、そして、一部の国では男性にも接種されていますが、日本で接種している人はごく少数です。その理由は、「副作用」にあるのでしょうか。

確かに、注射部位の一時的な痛みや腫れ、また、痛みや不安のために失神を起こした事例が少数例ありま

す。しかし、頭痛や倦怠感、筋力低下、不随意運動などの多様な症状については発生率も極めて低率で、かつワクチン接種との因果関係を証明するような科学的、疫学的根拠は現在のところ示されていません。

10~16歳の女性がHPVワクチンを接種すると、子宮頸がんの発症を88%も減少させることがわかっています。HPVワクチンは定期接種であり、小学6年生から高校1年生までの女子への接種は無料です。また、より多くのタイプのウイルス感染を予防できる新しいワクチンは、すでに国の承認を受けています。さらには、日本でも、男性への接種も承認される見込みです。

病気は、「治す」だけではなく「予防」する時代です。子宮頸がんはワクチンで予防し、検診で早期に発見ができます。ぜひ若い方々はワクチン接種を、そして、女性は子宮頸がん検診を受けましょう。ワクチン接種については、かかりつけやお近くの医療機関にご相談ください。